

鈴木愛子です。

雲取山に行ってきましたので報告致します。

【山城】奥秩父 【ルート】鴨沢～雲取山往復 【登山方法】雪山登山（小屋泊）

【期間】H27年2/28(土)～3/1(日)

【参加者】CL田中孝平 SL狩野順一 鈴木憲二 鈴木愛子

【行程】

2/28(土) 天気 晴れ

千葉駅5:06⇒東京⇒青梅⇒奥多摩⇒鴨沢9:20出発～堂所～七つ石山の南斜面のトラバースルート～ブナ坂～奥多摩小屋14:04～50人平～小雲取山～雲取山15:20～雲取山荘15:50着

3/1(日) 天気 雪 石尾根の時は風雪強し 鴨沢着頃は雨

雲取山荘6:20出発～往路と同じ道を歩く～鴨沢着10:25→10:32のバスに乗る。～奥多摩駅～千葉着16:20頃

【報告】

2/28(土) 天気 晴れ

登山道に入り暫くは杉、ヒノキの森の中を歩く。1530mから先は登山道にずーっと雪があった。石尾根の下の方の一部分、雪がなくて土がどろどろの所もあった。明日、雨の予報で、ここを歩く時は田んぼの様になって嫌だなと思いながら歩いた。

頂上付近で積雪は50～60cm位あった。

小雲取山から眺めた雲取山方面の雪景色がとても綺麗であった。

頂上では、富士山、奥秩父の山々、浅間山、遠くにうっすらと南アルプスが見えた。

もう少し空の色が青かったら、もっと綺麗だったろうなと思った。

雲取山荘で夕飯前にビール等で乾杯、山の話に花が咲き、楽しいひとときを過ごした。

3/1(日) 天気 雪 石尾根の時は風雪強し 鴨沢着頃は雨

アイゼンをつけて雲取山荘6:20出発。 雨より嬉しい雪の中、歩き始める。

頂上に登らないで、小雲取山までトラバースルートを行こうとしたが、昨夜の降雪でトレースが消えていて、道が分かりにくかったので、トレースがはっきりしている頂上への道を登り、帰る事にする。

樹林帯をぬけ尾根に出ると、吹雪、とても強い風が吹いていた。

昨日、見た木々の枯れ枝に、今日は霧氷がついていて、とても綺麗であった。

コマツガかシラビソかの木の葉に、雪の結晶を大きくしたような凍った雪の花の様な物がついているのが、とても素敵であった。

昨日、土がどろどろしていた所は雪で凍っていて、アイゼンで歩きやすかった。

田んぼの様な道を歩くはめにならず、良かった。

1200m位の所でアイゼンを外す。
鴨沢に着く頃は小雨になった。
本降りの雨にならず、ラッキーな山行であった。

今回の山行を終えての感想

○雲取山荘が1泊2食で7800円のところ、労山カードを提示したら、800円割り引いてもらえ、7000円でした。

皆さん、小屋泊まりの時は労山カードを持参すると、良いと思います。
今回の様に、もしかして、割り引いてもらえるかもしれないので。
ビール代になりますものね。

○長丁場歩く山行であり、二日目、尾根筋では吹雪であったが（尾根を歩いていた少しの時間）、雪山ハイクの楽しさを経験でき、嬉しかった。

○田中さんが万が一を考えて、スコップとピッケルを持ってくださり、7点セットも持って下さいました。重い物を全部背負ってくださり有り難うございました。

写真は田中さんと狩野さんが撮って下さいました。

狩野さんが撮ってくれたものを田中さんがPDF化して下さいました。

重ねがさね有り難うございます。

楽しい山行でした。ひとえにご一緒した皆さんのお陰です。感謝の気持ちでいっぱいです。

また何処かの山行でご一緒したいです。

2月28日 記録写真



鴨沢出発 9:09



10:15 最初の本



14:37 上部の雪



奥多摩小屋 14:04



雲取山頂 15:20

3月1日 記録写真



6:17 帰りの朝
雲取山荘



7:09 帰りは朝から風雪

雲取山の記録
20150228~0301



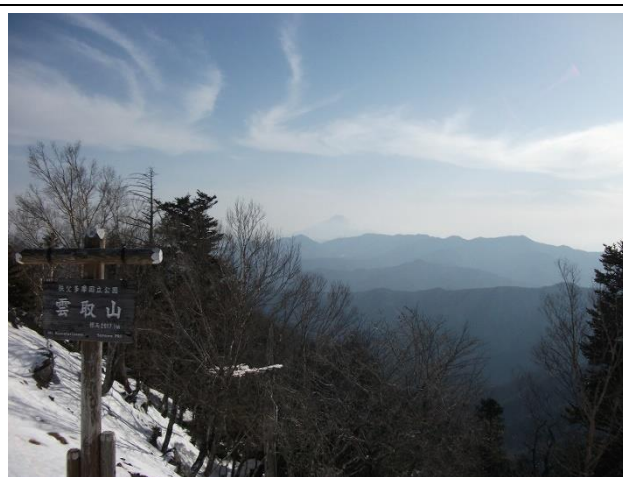
雲取山 頂上にて



雲取山頂上にて



小雲取山付近から雲取山避難小屋を望む



頂上からの富士山